

4. 香港

■正式国名：中華人民共和国香港特別行政区

Hong Kong Special Administrative Region of the People's Republic of China

■政治形態：一国二制度（特別行政区）

■面積：1,110km²（東京都の約半分）

■人口：749万人

■言語：中国語（広東語、北京語）、英語

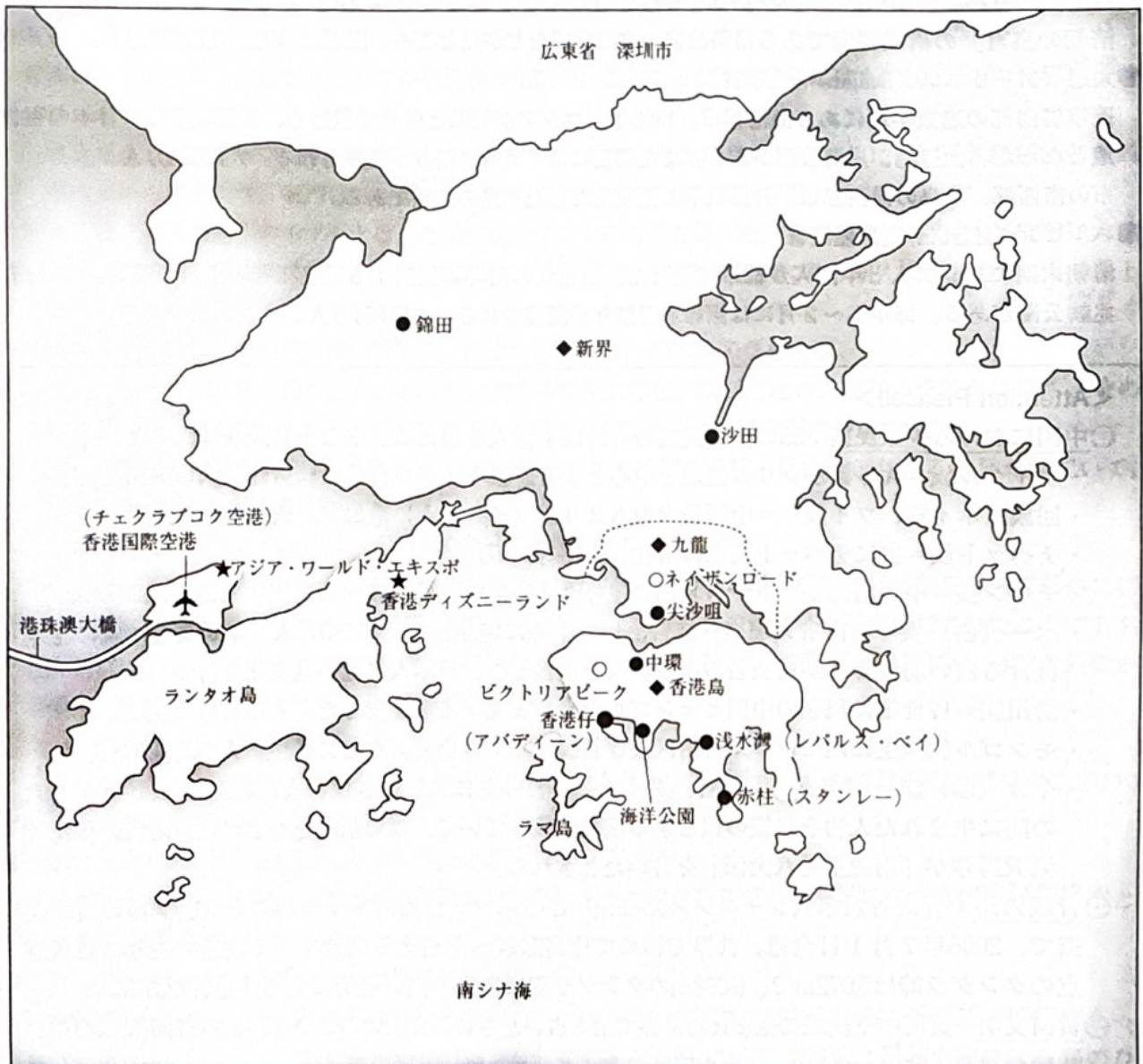
■通貨：香港ドル（1香港ドル＝20.2800円）

■住民：主に漢民族。その他イギリス人、インド人など。

■宗教：仏教と道教が90%以上。その他キリスト教、イスラム教、ヒンドゥー教など。

■地勢：香港は、香港島、九龍半島の先端である九龍とその背後にある中国からの租借地だった新界、ランタオ島などから成る。土地は起伏に富み、半島側の最高峰は958mである。また、港珠澳大橋（P21参照）により、マカオとは陸路でも結ばれている。

■気候：亜熱帯圏に属しているが、季節風の影響で変化に富んでいる。夏は高温多湿で台風が多く、冬は気温が低い。



- 観光：スターフェリー（香港島と九龍半島を結ぶ船）乗船。香港島のピーク・トラム、ランタオ島のゴンピン360（全長5.7kmのロープウェイ）乗車
- 名物料理：飲茶（ヤムチャ、P248参照）。中国料理（主に広東料理、点心）。海鮮料理
- 土産品：漢方薬。中国茶。ヒスイ。シルク製品。化粧品
- アトラクション：香港ディズニーランド。ピーク・タワーでの夜景観賞。マイポー自然保護地区に隣接する香港ウェットランド・パーク（珍しい鳥や動物が見られる広大な自然公園）

◆香港島（Hong Kong Island）

九龍半島の対岸にあり、イギリスが最初に上陸して占領した島。九龍半島との間の水道に天然の良港、ビクトリア港がある。この港と九龍半島先端の尖沙咀^{チムサアチョイ}とを結ぶスターフェリーは100年以上の歴史を持ち、観光客にも人気がある。香港島北岸にある中環^{セントラル}は、香港の政治・経済の中心地であり、ショッピングセンターや金融機関のビルが林立している。南側は香港の名前の由来となった漁師町香港仔^{アバディーン}、アジア最大の規模を誇る海洋公園^{オーシャン・パーク}、映画「慕情」の舞台となった浅水灣^{レパルス・ベイ}、欧米人が多く住む高級住宅地でマーケットが人気の赤柱^{スタンレー}などが見どころ。

○ビクトリア・ピーク／標高554mの香港島で最も高い山。中環からケーブルカー「ピーク・トラム」で上れる。「100万ドルの夜景」といわれる香港の夜景を楽しむのに絶好のポイント。2006年にリニューアル・オープンのピーク・タワーでは、よりダイナミックな景色が楽しめるようになり、人気のショッピングや眺めのよいレストランが人で賑わう。

◆九龍（Kowloon）

香港島の対岸に大陸側から突き出した九龍半島一帯を指す。南端の尖沙咀^{ヤウマティ}はホテルや商店、レストランが軒を連ねる繁華街。尖沙咀の北に位置する油麻地^{モンコク}は、その北の旺角と共に香港の下町エリア。油麻地の天后廟^{ティンハウミウ}に続く廟街（テンプル・ストリート）は、男性用品を扱う露店が多いことから、男人街と呼ばれる。旺角には、女性用の衣料を扱う露店が並ぶ女人街^{ノイヤンガイ}があり、夜遅くまで買物客で賑わう。その他、ヒスイ市場、黄大仙廟などがある。

○ネイザンロード（彌敦道）／九龍半島先端から北に伸びる尖沙咀のメインストリートで、「ゴールデン・マイル」とも呼ばれる。この一帯は香港一の繁華街となっていて、地元の人や観光客でいつも賑わっている。

◆新界（New Territories）

香港島と九龍地区以外の、広東省との境界線までの広い地域と海上に点在する235の島々から成る。香港島の西に位置する香港最大の島であるランタオ島の北岸の埋立地には、1998年7月オープンのチェックラップコク空港がある。香港ディズニーランド、アジア・ワールド・エキスポもこの島にある。新界のニュータウンである沙田には、香港最大級のショッピングセンターや巨大な香港文化博物館がある。

★香港ディズニーランド（Hong Kong Disneyland）

ランタオ島の北東端にある、アジアで2番目に造られたディズニーランド。ミッキーマウスが広東語を話しているのを聞くことができ、香港でしか会えないキャラクターを見ることができる。空港から車で約20分とアクセスも良い。

<Attention Please!!>

○香港の鉄道：香港には、①香港島の2階建て路面電車、②ビクトリアピークへのケーブルカー「ピークトラム」、③香港鉄道MTR（Mass Transit Railway。地下鉄7路線を含む全22路線を運行）の3社の鉄道が運行されており、1997年からオクトパス（八達通）と呼ばれるプリペイドICカード式乗車券が発売開始となり、この3社はもとより、バスやフェリーにも使える。

5. マカオ

■正式国名：中華人民共和国マカオ特別行政区

Macau Special Administrative Region of the People's Republic of China

■政治形態：一国二制度（特別行政区）

■面積：33km²（新島と同規模）

■人口：70万人

■言語：中国語（広東語、北京語）、ポルトガル語

■通貨：パタカ（1パタカ＝19.7820円）

■住民：主に漢民族、その他ポルトガル人。

■宗教：主に仏教と道教。その他キリスト教。

■地勢：中国の広東省の珠江の三角洲につながる南北5kmのマカオ半島と、付近のタイパ島、コロアン島から成る。香港から西へ約60kmのところに位置し、高速道路や高速船で結ばれている。

■気候：亜熱帯圏に属しているが、貿易風の影響で変化に富んでいる。夏は高温多湿で日射しもかなり強いが、冬は冷たい北風が吹き、気温が低い。

□観光：世界遺産の街並散策。タイパ島・コロアン島のレジャー施設巡り

□名物料理：ポルトガル料理（タコのリゾット、塩漬けタラなど魚介類が多い）。マカオ料理（アフリカンチキン、カレーガニなど、中国・インド・アフリカ料理の影響を受けたポルトガル料理で、香辛料を多く使う）

□土産品：ビーズ製品。手編みのレース製品。菓子類（アーモンドクッキー、エッグタルトなど）

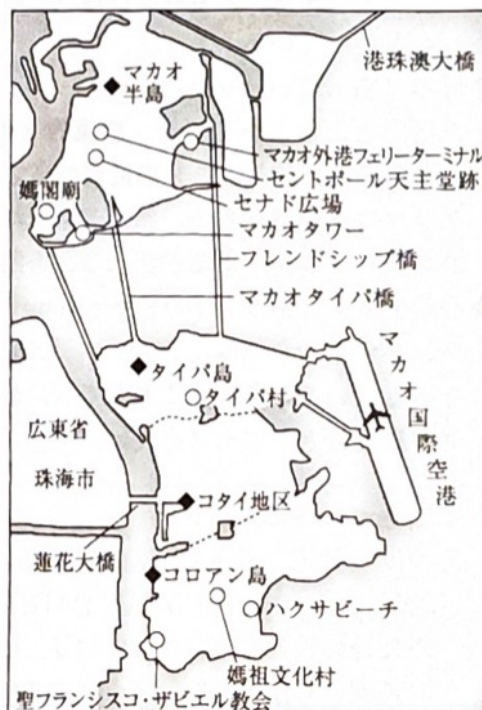
□アトラクション：東洋最大のカジノ。フィッシャーマンズ・ワーフ（テーマパーク）。マカオ・タワー（展望デッキ）。マカオ・ジョッキー・クラブ（競馬場）。マカオ・グランプリ／F3レース（11月）

◆マカオ半島（Macau Peninsula）

中国・広東省の珠海とつながるマカオ半島は、南北に3kmほどしかないが、マカオ特別行政区の大部分を占める。中国とポルトガルの文化、新旧のスタイルがミックスした独特の町並みは、歩いて探索するのに最適。セナド広場を中心とするマカオの歴史地区は2005年に世界遺産に登録された。

○セントポール天主堂跡／マカオ全盛期のシンボルであり、街の中心部の小高い丘の上にある。17世紀にイエズス会が建てた聖母教会は当時、アジアで一番美しい建物と評されていた。1835年の火災により、今ある正面階段とバロック様式のファサードだけが焼け残った。ファサードは完成するまで三十数年かかり、刻まれた彫刻により宗教の戒律が見て分かるということで、「石の説教」ともいわれている。2段目の右から2つ目の像は、聖フランシスコ・ザビエルのもの。ファサードの門をくぐ

ると、火災で黒ずんで残った部分などが見られ、当時の生々しさを感じることができる。



○セナド広場／観光客が必ずと言ってよいほど足を運ぶ、街歩きの起点となる広場。中央には噴水があり、周囲には歴史的建築物が並んでいて、異国情緒たっぷりである。地面のユニークな波状のモザイク模様は、ポルトガルから運ばれた石を敷き詰めたもの。各種イベントが行われ、夜にはライトアップもされて、多くの人で賑わっている。

○媽閣廟（マコウミュー）／マカオの地名の由来となったとされている。航海の守り神「阿媽」を主神として祀っているマカオ最古の中国寺院。

○マカオ・タワー／2001年、南灣湖の埋立地に完成した高さ338mのタワー。新生マカオのシンボリック存在。安全ベルトを付けてタワーを上ったり、ダイブするアトラクション「スカイ・アドベンチャー」が話題となっている。

◆タイパ島（Taipa Island）

マカオ半島と長い橋で結ばれたタイパ島は東端にマカオ国際空港を持つ。南部のタイパ村はかつてポルトガル人の別荘が多かったところで、現在はマカオ料理とポルトガル料理のレストランが並ぶグルメ・スポットとなっている。カルモ教会、かつてのポルトガル公館を改築したコロニアル建築のタイパ・ハウス博物館、1万5,000人収容のマカオ・ジョッキー・クラブ（競馬場）、露天市などが見どころ。

◆コロアン島（Coloane Island）

タイパ島の南に位置し、現在は埋め立てによりタイパ島と地続きになっている。緑の多い島であり、ゴルフ場、海水浴が楽しめる黒沙（ハクサ）ビーチ、媽祖文化村（テーマパーク）などがあり、のんびり過ごせるリゾートとなっている。

○聖フランシスコ・ザビエル教会／1928年、日本にキリスト教を伝えたフランシスコ・ザビエルを記念し、島の西端のコロアン・ビレッジに建てられた小ぢんまりとした瀟洒な造りの教会。

◆コタイ地区

タイパ島とコロアン島の間を埋め立てた新市街地。シティ・オブ・ドリームス、ギャラクシーマカオ、サンズ・コタイ・セントラル、ベネチアン・マカオなどのデラックスホテルやカジノが集まる巨大複合施設がオープンし、メガリゾートとしてラスベガスを凌ぐ規模となる計画が進んでいる。2000年に完成した蓮花大橋により、広東省の珠海市と陸路でつながり入出境出来るようになった。

<Attention Please!!>

○マカオのカジノ：「東方のモンテカルロ」或いは「アジアのラスベガス」といわれるマカオは、マカオが中国に返還されてから、ますますカジノ利用者が増え、その収益は今やラスベガスを追い抜いたといわれる。

○香港珠海マカオ大橋（港珠澳大橋）：香港のランタオ島と広東省珠海市およびマカオを結ぶ海上橋。2018年10月に完成・開通し、海底トンネル部分・接続道部分を含む全長約55kmと世界最長クラスの海上橋であり、香港とマカオが車で約30分で結ばれた。



セナド広場
©マカオ政府観光局



セントポール天主堂跡
©マカオ政府観光局